

つながる  
聖書と絵画展

提案先:多摩美術大学 芸術学科 様

提案者: XXXXXXXXXX



## 意図

『つながる聖書と絵画展』は、キリスト教の美術作品を見ながら、同時にその題材となった聖書本文も読むことが出来る展覧会である。

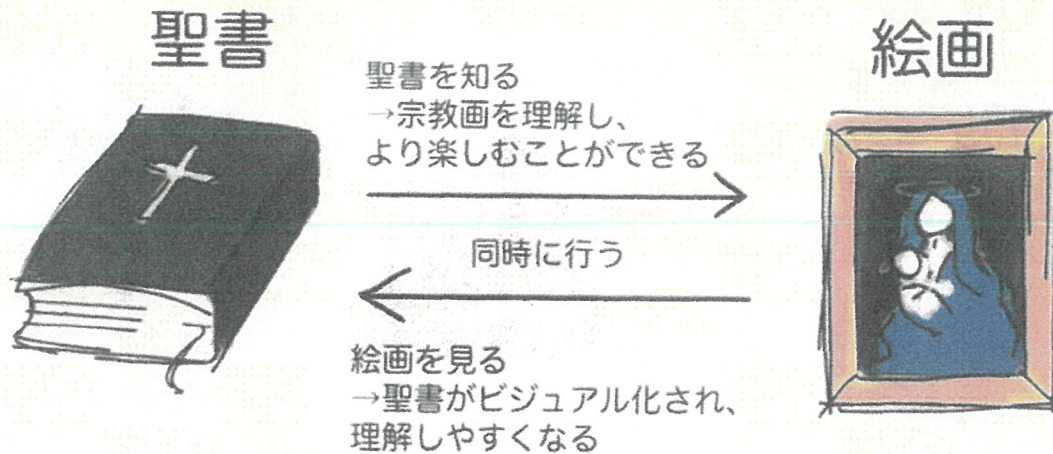
数年前、国立西洋美術館で多くの宗教画を見た。見ながら、「宗教画って綺麗だけれど、聖書の内容を知らないからよく分からないんだよね。」と言っている人がいた。ミッション系の学校に通っていた私にとって、聖書の言葉は馴染みのあるものになっていたが、日本という国において、聖書に触れる機会を得ることは容易ではないのだと気付かされた。そして、宗教画と聖書を同時に、より身近に感じてもらうにはどうしたらよいのだろうと考え始めた。

西洋美術を読み解く上でキリスト教と切り離して語ることは出来ない。聖書の言葉を元に、絵画、彫刻、教会建築と様々な形で発展していったからだ。また、聖書の世界をビジュアルとして多くの人に伝える上でアートは必要不可欠であった。信仰と芸術は互いに影響しあい、発展していったと言えるだろう。

絵画をただ鑑賞するだけではなく、時折全身を使ってその世界に入り込みながら、聖書の言葉を読み、聞く。まずその機会を得て、そこでの経験を通して両者の「つながり」を楽しんでもらう。それが本展の目的である。

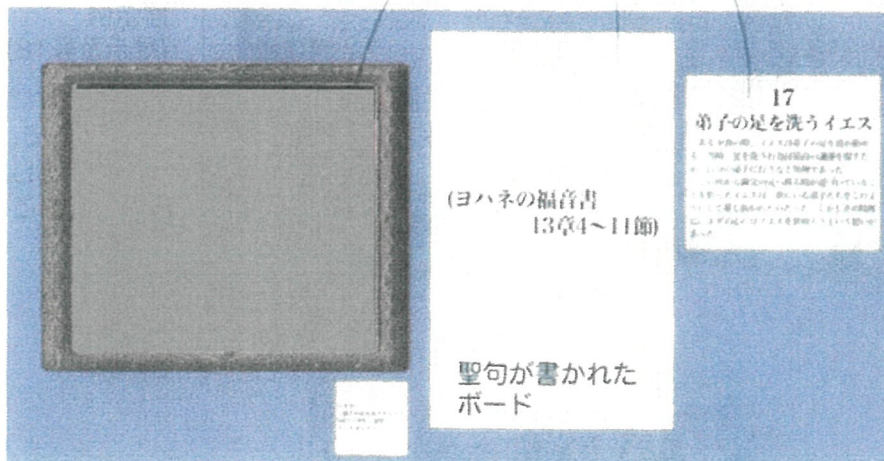
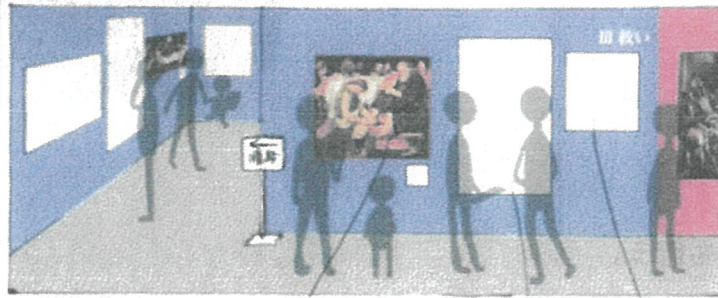


# 内容



## 展示① 絵画と、その場面の聖書本文の展示

展示例  
(展示番号17)



← 簡単なあらすじが書かれたボード

本展は「聖書を知る機会」と「絵画を見る機会」の2つを同時に提供することを目的としている。「本物の絵画を見ること」や「伝道」目的ではないため、展示作品は複製画を使い、聖書は本文とあらすじのみ、そこからの解釈は展示しないものとする。



展示② 絵画の一部になれる展示

展示例  
(展示番号1)

・『天地創造』フォトスポット

絵の前に置かれた椅子に寝転び、手を伸ばせば、有名な『天地創造』に入り込んだような写真を撮ることができる。



衣装の貸し出しも行う。

展示例  
(展示番号18)



最大4人まで、まるで最後の晩餐に参加したかのような写真を撮ることができる。



聖句ボード

この二つの展示でも同じように、フォトスポットの横には聖句が書かれたボードと複製画が展示されている。



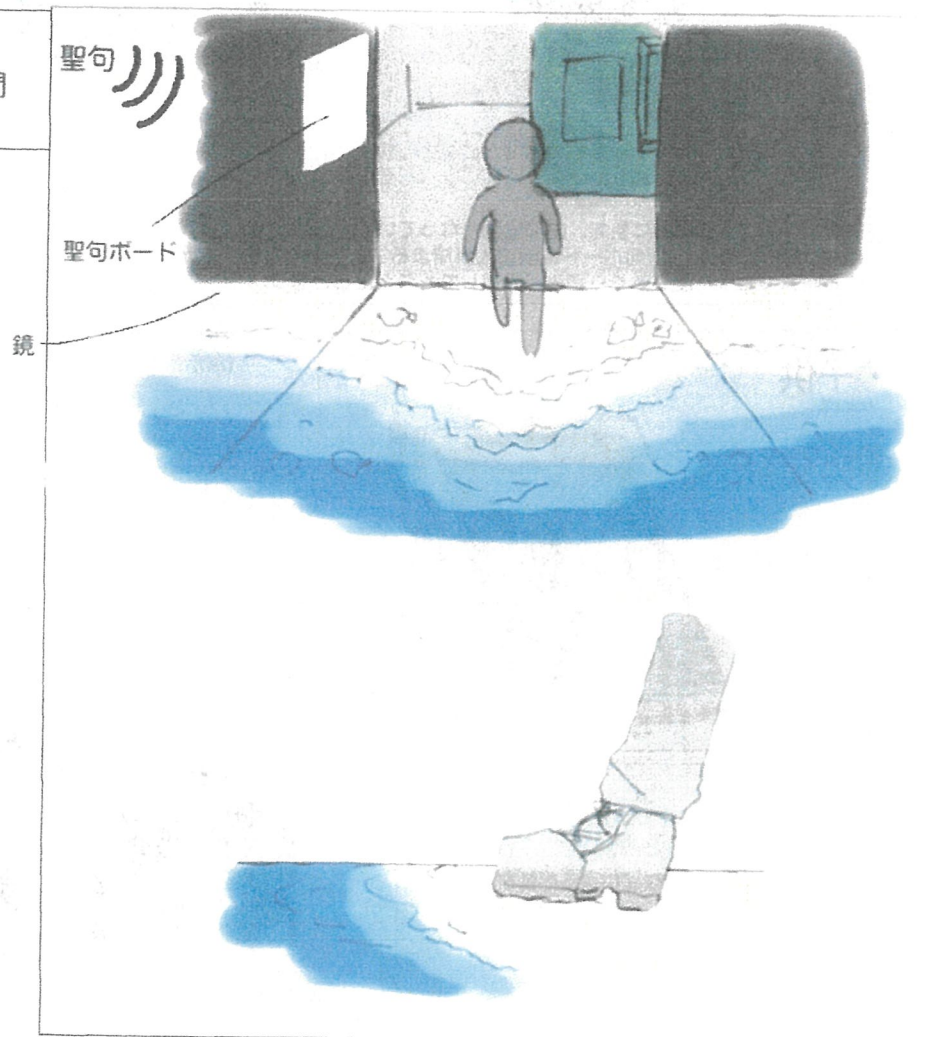
### 展示③ 聖書の世界を肌で感じる通路

#### ・『海を押し戻して進む通路』

足を踏み出したところから映像が変わり、まるで海を押し戻して進むモーセのような体験ができる。

より臨場感を出すため、聖句が音声で流れ、水の音や風も感じることができる。

展示例  
(展示番号4と5の間  
にある通路)



足元に映像が映り、  
通路を挟む壁が鏡になって  
いる。



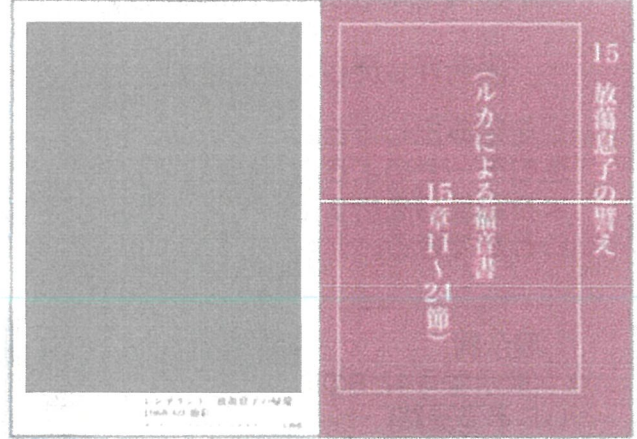
## 来場者に渡されるもの

### ・一般

展覧会ガイドブック、ヘッドホン(希望者)



展覧会ガイドブックは右に聖句、左に絵画となっていて、展示と全く同じ内容。(聖句は長文になってしまうので)聖句ボードの前に人が溜まることを防ぐため、手元でも読めるようにする。家でもう一度じっくり読み、鑑賞してもらえたらと思う。



### ・子供

展覧会ワークシート  
(バインダーは選べる3色)



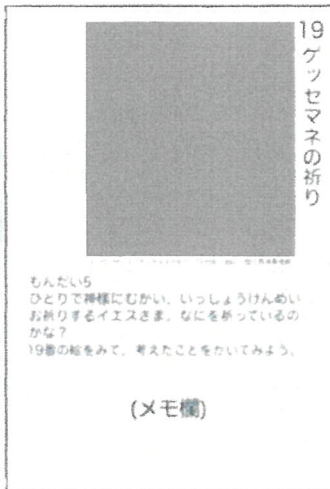
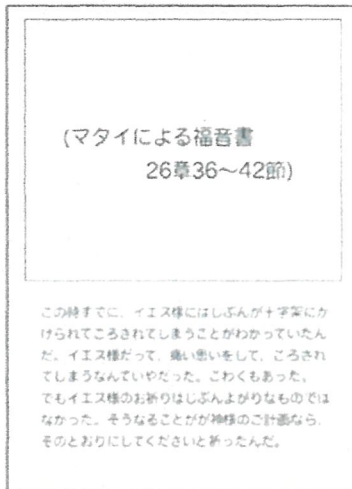
ガイドブック内容例1  
(展示番号15)

ガイドブック表紙1



ワークシート内容例  
(展示番号19)

ワークシート表紙



展覧会ワークシート「かんさつ・そうそう・はっけんシート」は名の通り子供たちに、まず絵をよく観察し、どんな場面なのか(例えばなぜ悲しそうな顔に描かれているのかなど)を想像し、聖句を読んで理解を深めることをクイズ形式で促すもの。ただ知るのではなく「発見」するには、まず自分が絵からなにを読み取ったのか気づく必要があると考えた。

## 展示する作品

### I 旧約聖書の世界

- |                 |                               |
|-----------------|-------------------------------|
| 1 天地創造          | ミケランジェロ《アダムの創造》システィーナ礼拝堂天井画 ※ |
| 2 蛇の誘惑          | クラナハ《アダムとエバ》ベルギー王立美術館         |
| 3 ノアの箱舟         | レーニ《箱舟の建造》エルミタージュ美術館          |
| 4 イサクをささげるアブラハム | カラヴァッチョ《イサクの犠牲》ウフィツィ美術館       |
| 5 十戒            | シャンパーニュ《モーセと十戒》ミルウォーキー美術館     |
| 6 ルツの落ち穂拾い      | ブッサン《夏(ルツとボアズ)》ルーヴル美術館        |
| 7 ダビデの勝利        | カラヴァッチョ《ゴリアトの首をもつ少年》ブラド美術館    |
| 8 エステルの決断       | シャセリオー《エステルの化粧》ルーヴル美術館        |

### II イエスの生涯

- |               |                                 |
|---------------|---------------------------------|
| 9 受胎告知        | ジェンティレスキ父娘《受胎告知》サバウダ美術館         |
| 10 キリストの誕生    | リベラ《羊飼いの礼拝》ルーヴル美術館              |
| 11 最初の弟子たち    | ドゥッチオ《ペトロとアンデレの召命》ナショナル・ギャラリー   |
| 12 ベトザタの池での奇跡 | ムリーリョ《病人をいやすキリスト》ブラド美術館         |
| 13 湖の上を歩くイエス  | ティントレット《ガリラヤ湖のキリスト》ナショナル・ギャラリー  |
| 14 善きサマリア人の譬え | ゴッホ《善きサマリア人》クレラー=ミュージーラー美術館     |
| 15 放蕩息子の譬え    | レンブラント《放蕩息子の帰還》エルミタージュ美術館       |
| 16 神殿の清め      | グレコ《神殿から商人を追い払うキリスト》ナショナル・ギャラリー |

### III 救い

- |               |  |
|---------------|--|
| 17 弟子の足を洗うイエス | ブラウン《弟子の足を洗うキリスト》テートギャラリー                    |
| 18 最後の晩餐      | レオナルド・ダ・ヴィンチ《最後の晩餐》<br>サンタ・マリア・デッシ・グラツィエ教会 ※ |
| 19 ゲッセマネの祈り   | ヴァザーリ《ゲッセマネの祈り》国立西洋美術館                       |
| 20 十字架        | ブリュードン《釘付けされたキリスト》ルーヴル美術館                    |
| 21 埋葬されるイエス   | ホルバイン《墓の中のキリスト》バーゼル美術館                       |
| 22 復活         | カラヴァッチョ《トマスの不信》国立美術館                         |
| 23 昇天         | レンブラント《天に昇るキリスト》アルテ・ピテコナーク                   |
| 24 最後の審判      | ルーベンス《最後の審判》アルテ・ピテコナーク                       |

作品を24点に絞り、聖書本文は作品に合わせて抜粋しているため、聖書全体が網羅されているわけではない。そのため、人物や前後のつながりなど必要な情報は要約して挟むようにする。

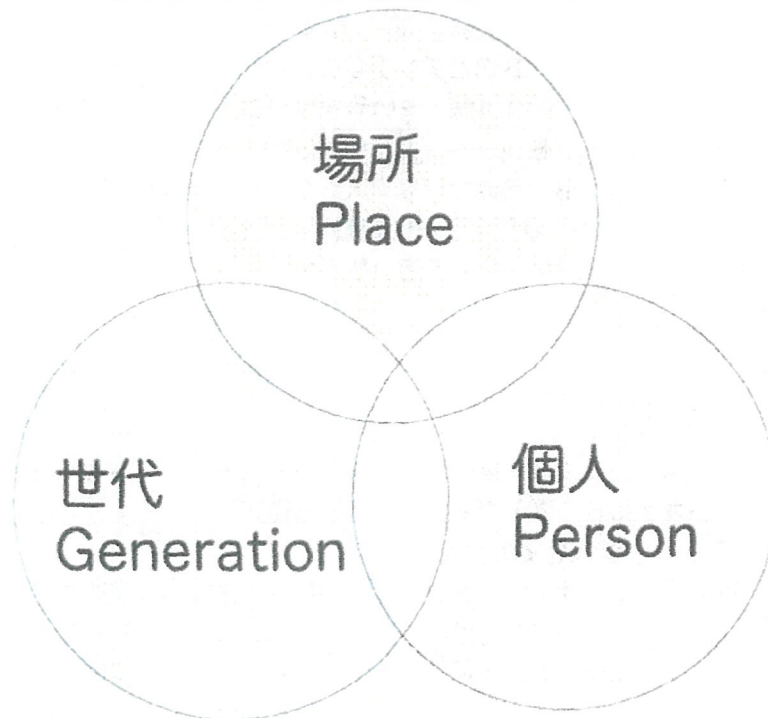
※「天地創造」「最後の晩餐」はフォトスポットと複製画の展示、他は複製画の展示。



## 本展の理念

『わたしは、誰も閉じることができない門を、あなたの前に開いておいた。  
(ヨハネの黙示録 3章8節)』  
に基づき、“どの「場所」「世代」「個人」にも開かれた展示(=機会)”を目指す。

「一つの美術館」にこだわらず、各地の美術館、公民館、休日の学校のホールなどを借りて行く、巡回展とする。そうすることで、普段美術館に行く人も、行かない人も、住んでいる地域を気にせず、足を運ぶことができる。  
(複製画を使うのはこういった事情があるからでもある。「本物を見る」ことより「地域を選ばず絵画と聖書に親しむ機会を作る」方が本展にとって大事だと考えた。  
使う場所によって展示②③は出来ないかもしれない。)



幅広い年齢層に来てもらうため、各世代が楽しめるよう工夫する。  
子供用の『かんさつ・そうそう・はっけんシート』  
若者向けのフォトスポット  
お年寄りや車いすの方向けに休めるところを多く設けたり、ヘッドホンで聖句が聞けるようにする。

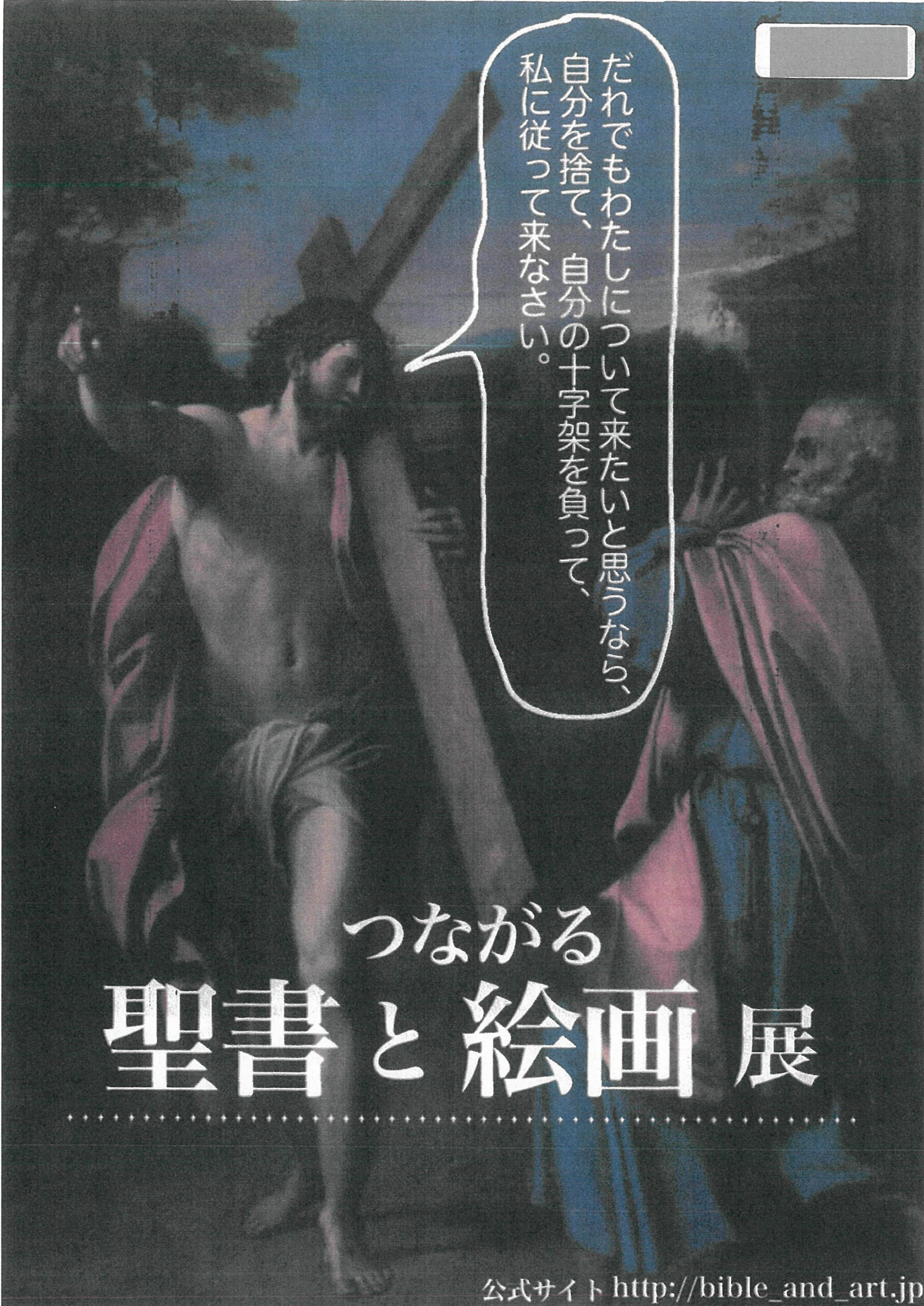
聖句を音声で楽しむ③の展示でも必ず聖句のボードを用意する。逆にどの展示でも必ず番号を入力すれば、ヘッドホンで聖句を聞けるようにする。  
ボードとヘッドホンの音声は日本語だけでなく、英語と中国語も用意する。  
(障がい者の方々一人一人に寄り添う対応として、これでは足りないように思うし、巡回展なのでどの会場でもこれを対応できるようにするのは難しいかもしれない。(特に視覚)障がい者の方がどうすれば安心して芸術鑑賞ができるのか、私は全然知識が足りないと思われた。)





## 参考

- ・『アートバイブル』(発行:日本聖書協会)
- ・『名画で読み解く「聖書」』(発行:世界文化社)
- ・『美術の物語』(著:エルンスト・H・ゴンブリッチ 発行:河出書房新社)
- ・聖書 新改訳2017(発行:いのちのことば社)



だれでもわたしについて来たいと思うなら、  
自分を捨て、自分の十字架を負って、  
私に従って来なさい。

つながる  
聖書と絵画展

公式サイト [http://bible\\_and\\_art.jp](http://bible_and_art.jp)

表: アンニーバレ・カラッチ《聖ペテロに現れるキリスト》(部分)1602年 油彩/カンヴァス 77.4×56.3cm ロンドン・ナショナル・ギャラリー

# はじめに神が 天と地を創造された。



神はご自分が造ったすべてのものを見られた。  
見よ、それは非常に良かった。

世界一売れている本、聖書。  
旧約で39巻、新約で27巻、計66巻  
からなる分厚い書物を、さあ一か  
ら読んでみよう。  
ぜひとも読んでみて欲しい……  
が、かなり大変じゃないか？

「つながる聖書と絵画展」では、  
絵画を使って聖書を楽しむ。  
聖書を使って絵画を楽しむ。

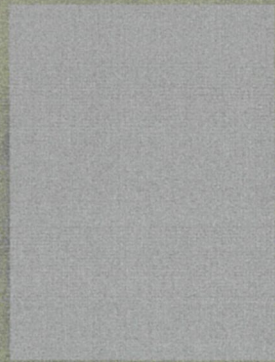
誰しも一度は見た事のある名画、  
だほど一体どんな場面なんだろ  
う？真ん中に座るイエス・キリス  
トはなんと言っている？

聖書と絵画はつながっている。  
神と人のつながりによって。  
そんな過去は、現在へ、そして未  
来へとつながっていく。  
2000年の時を越えて、  
今、聖書の世界が蘇る。

創世記 1章1節 / 31節

見どころ①

全24点の絵画の展示



天地創造から最後の審判まで、聖書の  
世界を通して見てゆく。  
見どころ②  
— あの名画の一部になれる！



見どころ③

音と映像の新体験



ルーベンス 《最後の審判》 アルテ・ヒテコナーク



お子様  
限定！

〇〇公民館

Tel. <http://>



アクセス

2023年〇月〇日 〇  
～〇月〇日 〇

開館時間  
夜間開館  
休館日  
観覧料  
1.解



NEXT→

『かんさつ→そうぞう→はっけんシート』